

斜めに差し込む光に照らされた、もうもうと立ち上る川霧と朝露を帯びたススキ。自然の光景でありながら、どこか劇的な瞬間を切り取ったかのような一枚です。本市出身の作者・園田文雄（1917-2005）は、医師として働く傍ら、写真家としても積極的に作品を発表し、県内外の展覧会で数多く入選・入賞しました。大淀川にかかる歌舞伎橋（都島町）下を捉えた本作は、1982年の都城市美術展・写真部門で大賞を受賞しました。

市立美術館には、本作のほかにも園田にゆかりの収蔵品として、米国の美術家マン・レイの写真作品12点があります。これらは、地域の写真芸術の発展を願う園田の思いを受け継いだキミエ夫人から2006年に寄贈されたもので、本作とともに当館の重要なコレクションです。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎ 25-1447

History exploration

歴史探訪！

梅北城跡～中郷地区の城郭～

中世に築かれた館跡や城跡が多く残る都城盆地。中郷地区にある梅北城跡（梅北町）は、梅北川東側にある標高約168mのシラス台地西端部に位置しています。築城時期は不明ですが、元和元（1615）年の一国一城令により廃城となっています。廃城までの間、たびたび城主が入れ替わった梅北城。15世紀後半には島津氏、15世紀末には新納氏、天文7（1538）年には北郷氏、文禄・慶長年間の一時期（1595～1600年）は伊集院氏、庄内の乱後は、再び北郷氏が城主となりました。

江戸時代に編さんされた「庄内地理志」によると、梅北城は「飛永城」「上村城」「中之城」「新城」という4つの曲輪（台地を空堀や土塁などで区切った区画）で構成された城とされています。このうち、平成9（1997）年に新城で実施した確認調査では、幅約25m・深さ約18mの空堀や、幅約10m・高さ約3.5mの土塁などが見つかっています。

※本城跡の調査成果などは、9月12日（金）から10月14日（火）まで中郷地区公民館で開催する巡回企画展で展示予定



梅北城跡 新城の空堀

◎問い合わせ 文化財課 ☎ 23-9547

「寒露の朝」 園田 文雄 作（撮影年不詳）



昭和天皇御献上カステラ



明治32年創業、126年の歴史を誇る和洋菓子のコジマヤ。5代目・平岩良介代表取締役の曾祖父・平岩貞義さんが、現在の鹿児島県鹿屋市付近にあった菓子店「コジマヤ」を譲り受け、戦争を機に本市に移店。現在まで、その店名と伝統の味を守り続けています。

看板商品の「昭和天皇御献上カステラ」は、昭和10年、48年の2度にわたり天皇陛下に献上した逸品。当時、日本に2台しかなかった特殊な専用窯は通常の2～3倍の大きさで、現在この窯を扱えるのは同店だけです。

今年、代表取締役役に就任した平岩代表は、伝統のカステラ技術とソフトクリームを融合させた新しいお菓子など、和洋菓子店の強みを生かした商品開発にも挑戦。「古き良きものを残しつつ、新しいものも取り入れていきたい」と、伝統の味の継承と未来への挑戦に目を輝かせています。

長年都城で愛され、親子3世代にわたる常連客も多い同店。「商売は笑売。お菓子業界は喜怒哀楽の『喜怒哀楽』を届けるもの。日々お客様に気持ちを考えて作ることを大切にしています」と笑顔を見せます。

す。「熱の逃し方が難しく、毎日2時間半以上は窯につきっきりです」と平岩代表、厳選した小麦粉と都城産ブランド卵、米飴の風味が調和したカステラは、現在でも同店の人気商品の一つで、SNSなどでその評判を聞きつけた人たちが県内外から訪れます。



平岩良介代表取締役

今月の読者プレゼント



きざみ鰻弁当 5人

プレゼント提供事業者

うなぎ処榮来（前田町4-21） ☎070-8424-3765

鰻の持ち帰り専門の同店から、食やすくきざんだ鰻と焼肝が乗ったきざみ鰻弁当をプレゼント。甘いたれで香ばしく焼き上げた、鹿児島県大隅産のおいしい鰻を堪能ください。



プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、9月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 9月30日（火）当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙11月号
- ◎7月号当選者 りんごちゃんさん ほか2人
- ◎7月号応募総数 158通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

お待ちしております！ 読者のお便り

郵便はがきにこの面を貼り付けて、宛名面に次のとおり記載の上、郵送ください。

宛先

郵便番号 885-8555
都城市役所秘書広報課 行
※住所の記載は不要

送付者情報

- ①氏名、②フリガナ、
- ③ペンネームまたはイニシャル、
- ④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号

